



2020年8月11日

各位

会社名 セイコーホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村 吉伸
(コード番号 8050 東証第1部)
問合せ先 常務取締役経営企画部長 瀧沢 観
(TEL 03-3563-2111)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第1四半期において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」において未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 感染症拡大に伴う損失（特別損失）の計上

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府や地方自治体からの要請や声明等により、当社グループは店舗の臨時休業、営業時間短縮、一部の製造拠点の操業停止・縮小等を行い、当該期間中に発生した固定費等（人件費、賃借料、減価償却費等）3,083百万円を「感染症拡大に伴う損失」として特別損失に計上いたしました。

なお、当該特別損失につきましては、本日公表いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」に反映しております。

2. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回業績予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	210,000	200	△1,300	1,000	24.26円
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 2020年3月期	239,150	6,134	7,004	3,394	82.36円

3. 修正の理由

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に伴う環境変化が当社グループに与える影響はきわめて不透明であり、業績予想の算定が困難な状況であることから未定といたしておりました。新型コロナウイルス感染症については依然として収束時期を見込むことが難しいものの、第3四半期以降も段階的に各国政府による移動制限の解除が進み、国内外で現状の生産活動や販売活動が継続するという前提に基づき通期業績予想を算定いたしました。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の環境変化等の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上